

# 総合整備計画書

村上市 今川辺地

## 1. 辺地の概況

- (1) 人口及び世帯数 76人 30世帯  
(うち地域の中心を含む5km<sup>2</sup>以内の面積の区域の人口 76人 30世帯)
- (2) 面積 6.27 km<sup>2</sup> { 宅地 0.02 km<sup>2</sup>  
農地 0.14 km<sup>2</sup>  
山林 5.26 km<sup>2</sup>  
その他 0.85 km<sup>2</sup>
- (3) 辺地を構成する町又は字の名称 村上市今川
- (4) 地域の中心の位置 村上市今川 122番地
- (5) 辺地度点数 140点

## 2. 公共的施設の整備を必要とする事情

- (1) 辺地の地勢及び住民の日常生活の現況  
今川辺地は、市役所所在地から北へ24.9kmの日本海に面する集落で、冬季期間、積雪量は少ないものの、日本海から吹き付ける季節風と波浪により、自然条件が極めて厳しい地域である。農林漁業が中心で、経営規模は零細である。そのほとんどが兼業であり、後継者となる青年層は市外流出や長距離通勤を余儀なくされている。  
集落内を流れる今川に架かる今川橋は、劣化が進んでおり修繕、補強による長寿命化が必要な状況にある。
- (2) 公共的施設の整備についての基本方針  
農林漁業が中心のこの地域において今川橋は、集落と幹線道路を結ぶ生活に欠かせない橋梁であり、修繕、補強による長寿命化を行うことで、交通の確保、歩行者等の安全確保を図るために重要な役割を担う。
- (3) 各区分の施設整備についての方針  
ア. 交通・通信体系の整備  
今川橋の修繕を行うことにより、地域住民の安全で安心な道路サービスを提供する。

### 3. 公共的施設の整備計画

令和6年度～7年度（2か年）

（単位：千円）

番号	施設名	事業主体	事業費 ①	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債 の予定額
				特定財源 ②	一般財源 ①-② ③	
1	市道今川7号 線今川橋修繕 工事	村上市	(129,000)	(76,614)	(52,386)	(52,300)
			100,000	59,400	40,600	40,600
合 計			(129,000) 100,000	(76,614) 59,400	(52,386) 40,600	(52,300) 40,600